



日本福祉大学 履修証明プログラム

学校福祉2024

教育、福祉、心理の視点から子どもと学校が抱える福祉的課題に総合的にアプローチできる専門性を養います

チーム学校を
進めるための仲間づくり

こんな方に

- 学校の教員（養護教諭、司書教諭を含む）、指導主事
- 教職経験者
- スクールソーシャルワーカー
- 社会福祉協議会
- 行政などの職員の方 など
- 学校支援関係者
- スクールカウンセラー
- 地域包括支援センター

本プログラムに興味があるすべての方



貧困・虐待・不登校・いじめ・暴力・発達障害をはじめとするさまざまな生きづらさを抱えた子どもたちを支援するために、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの養成と学校への配置、教師を含めた多職種連携（チーム学校）が進められてきました。

とはいえ、子どもたちを支援する専門職者はまだ十分ではありません。

そこで日本福祉大学では、子ども支援関係の仕事に従事していたり、その意志のある人たちを対象として、教育・福祉・心理にかかわる基礎的かつ実践的な知見やスキルを身につけてもらうため「履修証明プログラム学校福祉2024」を開講します。

申込期間 2024年4月15日(月)～5月12日(日) 必着

受講料 48,000円(税込)

定員 80名

形式 オンデマンド配信 + 会場集合型

会場 JR・地下鉄「鶴舞駅(名古屋市)」付近
(演習のみ)



講座の詳細は
こちらをご確認ください

学校福祉2024オンデマンド配信版

2,000円(税込) / 1コマ(85～120分)

※オンデマンド配信のみを受講いただくこともできます。
その場合は、履修証明プログラムの視聴期間とは異なりますのでご注意ください。



問い合わせ連絡先

日本福祉大学リカレント教育事業部企画事業室
〒460-0012 名古屋市中区千代田5-22-35

TEL 052-242-3069 FAX 052-242-3020

(受付時間：平日10時～17時)

E-mail recurrent@ml.n-fukushi.ac.jp



形式	日程	タイトル	学習内容	担当	
オンライン(配信)1コマ 85分~120分	6月1日(土) 7月31日(水)	【特別対談】 権利主体としての子どもをどう育てるか	教育福祉論の水脈をたどる	高橋 正教/鈴木 庸裕 /山本 敏郎	
		いまなぜ学校福祉なのか	学校の持つ福祉的機能の内発的発展	鈴木 庸裕	
		教育と福祉をつなぐ(1)	福祉に内在する教育的機能	高橋 正教	
		教育と福祉をつなぐ(2)	社会的養育の今日的課題	遠藤 由美	
		生きづらさの窓を開く(1)	学校から排除された子どもたち-教育職から見た子どもの苦悩-	丹下 加代子	
		21世紀教育改革の諸相と真相	ゼロトレ、PDCA、学校スタンダードを問う	藤井 啓之	
		教育観・子ども観の転換と学校制度	生活主体としての子ども、学校改革の新しい動向	山本 敏郎	
		子どもの声を聴くということ	子どもの声が聞こえてくるように聴く	鎌倉 博	
		子どもの育ちを支える文化	命輝く瞬間を仲間とともに	南 寿樹	
		生きづらさの窓を開く(2)	非行をする少年の現状、子どもの人権擁護	湯原 悦子/渋谷 幸靖	
		非行・問題行動の克服支援	貧困・虐待-家庭から排除された子どもたち-	木村 隆夫	
		子どもと地域福祉	福祉教育が支える主体形成	小林 洋司	
		子どもの権利と学校	子どもの権利が息づく学校にする	間宮 静香	
		生きづらさの窓を開く(3)	発達障害を抱えた子どもをもつ親として	NPO法人 アスペ・エルデの会	
		医療から見える学校と子ども	発達障害を抱えた子どもにとっての発達環境	牧 真吉	
		相談室から見える学校と子ども	発達障害を抱えた子どもと学校適応	堀 美和子	
		子どもとともに生きる-保育専門職	他職種との連携を活かして	平松 知子	
		子どもとともに生きる-小学校教諭	他職種との連携を活かして	板垣 賢二	
		子どもとともに生きる-特別支援学校教諭	他職種との連携を活かして	大宮 とも子	
		子ども・家族支援と多職種連携	心理職固有のアセスメント	瀬地山 葉矢	
個別支援と多職種連携	福祉職固有のアセスメント	杉原 里子			
多職種連携の現状と課題	チーム医療からの提案	藤井 博之			
形式	日程	時間	タイトル	学習内容	担当
会場集合型	8月3日(土)	10:00-12:00	学校福祉援助演習(1)	個人援助技法の基礎	野尻 紀恵
		13:00-15:00	学校福祉援助演習(2)	エコマップ、生育歴が気づきをつなぐ	沖田 昌紀
		15:15-17:15	学校福祉援助演習(3)	学校アセスメント・地域アセスメントの進め方	野尻 紀恵
		17:30	終了		
	8月31日(土)	10:00-12:00	教育実践演習(1)	実践記録を読む	山本 敏郎/藤井 啓之 /鎌倉 博
		13:00-15:00	教育実践演習(2)	実践記録を書く	
		15:15-17:15	教育実践演習(3)	実践記録を分析する	
		17:30	終了		
	9月1日(日)	10:00-12:00	学校心理演習(1)	乳幼児期からの心理発達の理解を活かした支援	瀬地山 葉矢
		13:00-15:00	学校心理演習(2)	心理職と福祉職の「かさなり」を考える	鈴木 庸裕/土井 裕貴 /服部 浩之
		15:15-17:15	子どもの権利条約の意義と課題	【特別講演】競争的教育環境と専門職	増山 均
		17:30	終了		
9月14日(土)	10:00-12:00	学校福祉演習(1)	実践研究報告会(1)	鈴木 庸裕/山本 敏郎	
	13:00-15:00	学校福祉演習(2)	実践研究報告会(2)		
	15:15-17:15	総括討論	【シンポジウム】学校福祉のための多職種協働		
	17:30	終了			

※学習内容、担当講師等はやむを得ない事情により変更する場合がございます

「履修証明制度」とは？

社会人などを対象とした新しい履修・学習の証明制度です。2007年度の学校教育法改正によって誕生した制度で、大学などが一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開設し、修了者に対して、法に基づく履修証明書(Certificate)を交付する制度です(文部科学省ホームページより)。本学が指定する科目群を履修することで、特定分野の学習を体系的に行ったことが認証されます。

当プログラムの修了要件
 ● 全講座を受講し、実践研究報告会で報告すること
 ● 修了試験(学校福祉にかかわる論述)を受験し、合格すること

修了証
 修了要件を満たした方には、学校教育法に基づく履修証明制度により、日本福祉大学より「履修証明書(学校福祉)」を授与します。
 ※日本福祉大学による単位認定はありません。